# 育ちと学びをつなぐ

掛川市こども希望課 保護者用接続便り① 令和6年9月27日

## 掛川市では、園と小学校をつなぐ『架け橋プログラム』を進めています。

園での遊びや生活の中で、心と体を十分動かして育まれた経験や学びを、小学校につなげ、安心して小学校生活を送ることができるように、園と小学校がよりよい連携をしています。特に、年長児(5歳児)とI年生の2年間を『架け橋期』とし、園から小学校への円滑な接続を図っています。

「**"つなぐ"**って どういうこと!?」



遊び中心の園生活から、学習中心の小学校生活。 半年後に控えた小学校入学に、年長児のお子さんもお 家の方も、期待とともに「大丈夫かしら…」と不安な思い もあることと思います。

それを、園と学校ではこのように考えています。

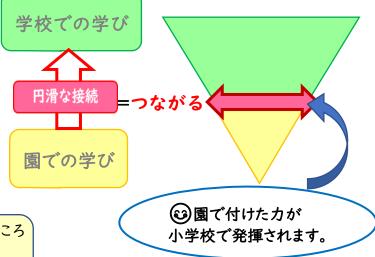
## \*園の遊びや生活には、学びの芽生えがいっぱい!

園での様々な経験は、小学校での学習の基盤となります!! 園と小学校が**つながる**ことで、I 年生は、ゼロからのスタートではなく、園での経験が生かされ、子どもたちの成長につながります。

学校でもアサガオを育てます。子どもたちに「園でどんな経験をしたか」を聞き、 種まきや世話の仕方の工夫を子どもたちが考えるようにしたいと思います。



園では子どもたちが色水に興味をもったところから、アサガオを育てました。葉の形を見て、「ハートみたい。」という気付きがありました。



### 遊びは学び!

子どもたちにとって遊びは生活そのもの!!意欲的に 遊ぶことを通しての様々な経験が学びとなります。

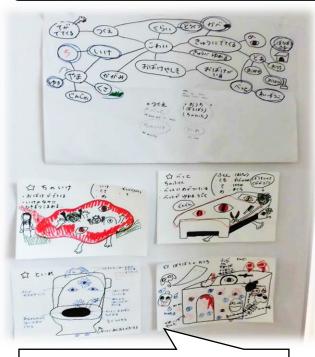
### <泡遊び・色水遊び> 園での遊びの中には、考えることがいっぱい!

「ふわふわの泡ができたね! 色水を入れたら、色がつく かな?」

→試したり考えたりしながら 遊ぶことが思考力の芽生え につながっています。



## <お化け屋敷ごっこ。<br/> シ友達と一緒に力や考えを合わせる活動もいっぱい!



みんなで話し合ったことをもとに、 "設計図"を書き、試行錯誤しながら、 遊びを進めました。 「みんなが驚くお化け屋敷を作ろう!」 →友達と協力して工夫しながら遊びを 楽しんでいます。年長児になると、友達 と一緒に遊ぶ事で、協同性がぐっと育 ちます。



### 保護者様へ

市内の園と小学校では、お互いに先生方が保育・授業参観や話し合いを通して、『架け橋プログラム』を進めています。保護者の皆様にも、この取り組みを知っていただき、一緒に子どもたちの成長を伸ばしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

# 育ちと学びをつなぐ

掛川市教育委員会 保護者用接続便り② 令和7年 I 月 23 日

9月に発行した第1号では、掛川市の園と小学校をつなぐ『架け橋プログラム』について紹介しました。また、園での『遊び』は『学び』であることをお伝えしました。 今回は、園での子どもの育ちや学びをつなぐための小学校の取組を紹介します。

> 4月に入学を控えた年長児 のいる御家庭は必見です!

#### 子どもが安心して生活や学習ができる環境づくり

○使いたい材料や道具等を自分で選び、すぐに活動できる環境をつくっています。





毛糸を巻こう。太い 毛糸がいいな。

令和6年度大坂小学校

○ | 年生教室や生活科室に、学習につながる園の写真や | 年生で学習した内容を 掲示しています。





令和5·6年度桜木小学校

○生活科室やホール等に、プレイマットやローテーブル等を設置したり、学習につながる絵本や遊びコーナーを設置したりしています。



令和6年度桜木小学校 |年生教室前ホール・|年生教室



令和6年度大坂小学校 生活科室

**園の環境を生かすことで、子どもが安心して生活・学習できます。** 

#### 入学当初に子どもの実態に合わせた時間割の設定

○子どもの集中が持続する 10分や 15分程度の短い活動を設定しています。また、子どもの思いや願いを実現するための十分な時間を確保するために、通常の 45分だけでなく 60分や 90分といった長い時間の活動を設定しています。

○朝の時間や1時間目に、読み聞かせや歌、創作活動、体を動かす等遊びを中心と

した学びの活動を設定しています。





(令和6年4月中央小学校)

#### 子どもが自分の力を発揮できるような学習活動の工夫

○生活の授業を中心として、国語や算数、音楽、図画工作、体育などの教科と関連 させて学習を進めています。



算数 「IOより大きい数 を数えよう」

| 10 のかたまり | にすれば、 | 数えられるね。

令和5年9月和田岡小学校

○子どもの日常生活とつながる学習活動を取り入れたり、体験的な学習活動を行ったりしています。

国語 「なんて いおうかな」



教室で、生活の様々な場面での 言葉のやり取りを考えた後…

一緒にやろう。

多目的室に行って、実際に遊ぶ活動 令和6年4月上内田小学校

紙面の都合上、市内の一部の小学校の取組を紹介しました。

掛川市では、令和4年度から円滑な園小接続に向けて、研究指定園を掛川こども園とおおさかこども園、研究指定校を桜木小学校と大坂小学校とし、研究を進めてきました。これまでも各学校の実態に応じて取り組んできましたが、今後はより市全体で意識して取り組み、幼児期の育ちや学びを学校教育につなげます。